

DXSpider の操作方法 (ユーザー編)

こちらでは DXSpider (ノードのソフトの一つ) についてのコマンド、操作方法についてご説明します。
[QRZ.COM の住所検索ができます。](#)

DXSpider で不要なデータを止める方法。(スポットにフィルタをかける)

DXSpider コマンド一覧

小文字の部分は入力を省略できます。

情報参照編

コマンド	機能
DBAVAIL	使用できる Database の一覧を表示します。
DBSHOW	
SHow/Configuration [<nodecall>]	ネットワークに接続している局を表示します。<nodecall>を指定すると特定のノードに接続している局のみを表示できます。
SHow/Configuration [<node>]	ネットワークに接続している国内 Node の一覧を表示します。(v1.51 build57.191)
SHow/Configuration/All	海外のノード局も含めて表示します。(v1.51 build 57.191)
SHow/Configuration/Node	一般の SH/C と違いノード局のみをリストします。
SHow/Date [<prefix> <callsign>]	現地時間を表示します。
SHow/DX	「SH/DX の使い方」をご参照ください。
SHow/DXCC <prefix>	<prefix>カントリーについてのレポートを表示します。sh/dxとの違いは?
SHow/DXStats	過去1ヶ月間の DX レポートの統計です。
SHow/FILES [<filearea>[<string>]]	Filearea 内のコンテンツを表示します。
SHow/FILTer	自分のフィルタの設定状況を見ます。(フィルタ設定編をご参照ください)
SHow/HFStats	過去一ヶ月間の HF 帯 DX レポートの統計です。
SHow/HFTable	自局の国で過去一ヶ月間、HF に関して多くレポートをした順位を表示します。
SHow/LOG [<callsign>]	自局のログを表示します。
SHow/MOon [ndays][<prefix> <callsign>]	月の出、月入りの情報を表示します。
SHow/MUF <prefix> [<hours>][long]	指定した Prefix に対する電波伝搬状況を表示します。
SHow/NEWConfiguration [<node>]	SH/Configuration と同じ情報ですがソートしません。

SHow/NEWConfiguration/Node	SH/Configuration/Node と同じ情報ですがソートしません。
SHow/Prefix <callsign>	Prefix-Database を検索します。
SHow/QRA <lat> <long>	緯度・経度からグリッドロケータを計算します。
SHow/QRA <locator> [<locator>]	そのグリッドロケータとの距離を表示します。
SHow/QRZ <callsign>	QRZ.COM から<callsign>の情報を検索します。
SHow/ROute <callsign> ...	<callsign>へのルートを表示します。
SHow/SATellite <name>[<hours><interval>]	衛星の軌道情報を表示します。
SHow/STation [<callsign> ..]	<callsign>の情報を表示します。
SHow/Sun [ndays][<prefix> <callsign>]	日の出、日の入りの情報を表示します。
SHow/TIme [<prefix> <callsign>]	現地時間を表示します。
SHow/VHFStats	過去 1 ヶ月間の VHF 帯 DX レポートの統計です。
SHow/VHFTable	あなたの国で過去一ヶ月間、VHF に関して多くレポートをした順位を表示します。
SHow/WCy	過去 10 回の WCY 情報を表示します。
Who	誰がコネクしているかを表示します。

一般設定編

コマンド	機能
SET/Address <your address>	住所を設定します。SET/QTH だけで十分と思います。
SET/ANnounce	アナウンスの受信を許可します。
SET/ANNTalk	Talk-message の受信を許可します。
SET/BEep	Beep 音を有効にします。
SET/DX	DX レポートの受信を許可します。
SET/DXGrid	DX レポートにレポートのグリッドロケータを付加します。
SET/ECho	ECHO を ON にします。(Telnet 接続専用)
SET/EMail <email> ...	e-mail アドレスを登録します。
SET/HEre	近くにいる事を示し、不在応答を解除します。
SET/HOMENode <node>	あなたの Homenode を指定します
SET/LANguage <lang>	言語を指定してください。 (en=English,nl=Nederland,de=Deutch,it=italiano)

SET/LOcation <lat & long>	自局の緯度・経度を設定します。
SET/LOGINinfo	誰かがノードに出入りした時に通知します。
SET/Name <your name>	お名前を登録します。
SET/NOHEre	不在である事を示し、 <u>Talk-message に対して自動的に不在応答します。</u>
SET/Page <n>	ページ制御により n 行ごとに停止します。n=0 は停止しません。
SET/PASSword	Telnet からアクセスする際に使用する Password を設定します。
SET/Qra <locator>	グリッドロケータを登録します。
SET/QTH <your qth>	QTH を登録します。
SET/TALK	TALK message の受信を許可します。
SET/WCY	WCY 情報の受信を許可します。
SET/WWV	WWV 情報の受信を許可します。
SET/WX	WX 情報の受信を許可します。
UNSET/ANnounce	アナウンスの受信を停止します。
UNSET/ANNTalk	Talk message の受信を停止します。
UNSET/BEep	Beep 音を停止します。
UNSET/DX	レポートの受信を停止します。
UNSET/DXGRID	レポートにグリッドロケータを付加しません。
UNSET/ECho	ECHO を OFF にします。(Telnet 接続専用)
UNSET/EMAIL	あなたの e-mail アドレス登録を抹消します。
UNSET/HERE	不在である事を示し、 <u>Talk-message に対して自動的に不在応答します。</u> (SET/NOHere と同じ)
UNSET/LOGININFO	誰かがノードに出入りした時に通知しません。
UNSET/PASSWORD	Password を消去します。
UNSET/TALK	TALK message の受信を停止します。
UNSET/WCY	WCY 情報の受信を停止します。
UNSET/WWV	WWV 情報の受信を停止します。
UNSET/WX	WX 情報の受信を停止します。

フィルター設定編

コマンド	機能
ACCEPT	フィルタ設定編をご参照ください。
ACCEPT/ANNOUNCE [0-9] <pattern>	
ACCEPT/ANNOUNCE [0-9] <pattern>	
ACCEPT/SPOTS [0-9] <pattern>	
ACCEPT/WCY [0-9] <pattern>	
ACCEPT/WWV [0-9] <pattern>	
REJECT	フィルタ設定編をご参照ください。
REJECT/ANNOUNCE [0-9] <pattern>	
REJECT/SPOTS [0-9] <pattern>	
REJECT/WCY [0-9] <pattern>	
REJECT/WWV [0-9] <pattern>	
CLEAR/ANNOUNCE [1 all]	フィルタ設定編をご参照ください。
CLEAR/ANNOUNCE [input] <callsign> [0-9 all]	
CLEAR/ROUTE [1 all] Clear a route filter line	
CLEAR/ROUTE [input] <callsign> [0-9 all]	
CLEAR/SPOTS [0-9 all]	
CLEAR/SPOTS [input] <callsign> [0-9 all]	
CLEAR/WCY [1 all]	
CLEAR/WCY [input] <callsign> [0-9 all]	
CLEAR/WWV [1 all]	
CLEAR/WWV [input] <callsign> [0-9 all]	

DXSpider での SH/DX の使い方

コマンド： SH/DX [option] デフォルト表示件数：10件

使用例 1： SH/DX 20 on 6m <-6m の DX レポートを 20 件表示します。

2： SH/DX 9M2 <-9M2 の DX レポートを 10 件表示します。

注意：SH/D では現地時間を表示するだけです！

Option につきましては下記のものを使用できます。フィルターの設定に慣れてよく間違える事なのですが、by_xxxx 等のオプションは使用できません。

使用方法 - 引数の例または説明 使用例

on <band> - 160m 20m 2m 23cm 6mm SH/DX on 160m <-160m の DX レポートを表示します。

on <region> - HF VHF UHF SHF 等 (詳しくは [SHoW/BANDs](#) をご覧ください)

SH/DX on VHF <-VHF 帯の DX レポートを表示します。

<number> - 20 30 40 等, SH/DX 50 <-DX レポートを 50 件表示します。

<from>-<to> - <from>番から<to>番 SH/DX 50-60 <-50 から 60 件目の DX レポートを表示します。

<prefix> - W3 HC8 9M2 SH/DX 9M2 <-9M2 がプリフィックスの DX レポートを表示します。

*<suffix> - *<suffix> SH/DX *AOU <-JN3AOU, Wx1AOU 等の DX レポートを表示します。

<string> - <string>を含むコールサイン SH/DX *QS* <-JA3QSO, JA1QSL 等の DX レポートを表示します。

day <number>- <number>日のレポートを表示 SH/DX day 2 on 6m 2 日前の 6m の DX レポートを表示します。

day <from>-<to>- <from>日から<to>日前を表示, SH/DX day 2-3 HC <-2 から 3 日前の HC の DX レポートを表示します。

by <call> - by JN3AOU SH/DX by JN3AOU <-JN3AOU が投稿した DX レポートを表示します。

<text> - <text> SH/DX weak <-Remarks に "weak" が含まれる DX レポートを表示します。

qsl - 上記 (text) の応用で QSL-INFO が書いてあるもののみ探し出す。

iota - 同じく応用で IOTA を探す

コマンド： SH/DXCC <prefix> [option]

説明：上記の SH/DX とは少しだけ違いプリフィックスを入れるとそのカントリ全体のレポートを表示します。

使用例： SH/DXCC JA <-JA カントリ (日本) のレポートを表示する。JA1QRZ, 7K1QRZ, 8J1QRZ 等

SH/DXCC by JA <-JA 局がアップしたレポートを表示する。(現在、無効のようですので SH/DX by J と入力してください。)

Option については SH/DX と同じものが使用できます。 例：SH/DXCC JA on 6m

フィルタの設定の仕方

Dxspider は人それぞれに好きな DX レポート, アナウンス, WWV, WCY だけを表示させる為のフィルタをかける事ができます。

全てのレポートを見たり、バンド別レポートや珍局のレポートだけを見ることもできます。

DX スポット (レポート) のフィルタの設定方法 (小文字の部分は入力を省略できます。)

ルールには指定した条件にマッチしたレポートに対して 2 種類の動作が指定できます。

1. 条件にマッチした物だけを画面へ表示する (Accept)

2. 条件にマッチした物を破棄する (Reject)

1 のコマンド: Accept/Spots [1-9] <条件>

2 のコマンド: Reject/Spots [1-9] <条件>

[1 から 9] の数字は上級者向きです。何も指定しなかった場合は入りますので、とりあえず無視しましょう。

1 の例: Accept/Spots freq 10m <-10m のレポートを表示します。

2 の例: Reject/Spots call_zone 1, 2, 3 <-CQZONE1, 2, 3 のレポートは表示しません。

<条件>には [このようなもの](#) が指定できます。

call は DX 局, by は投稿者 (レポート)、origin は書き込まれたノードを意味します。

```
sh/filter
```

```
JN3AOU : spots
```

```
filter1 reject call_zone 1, 2, 3
```

```
filter1 accept freq 10m
```

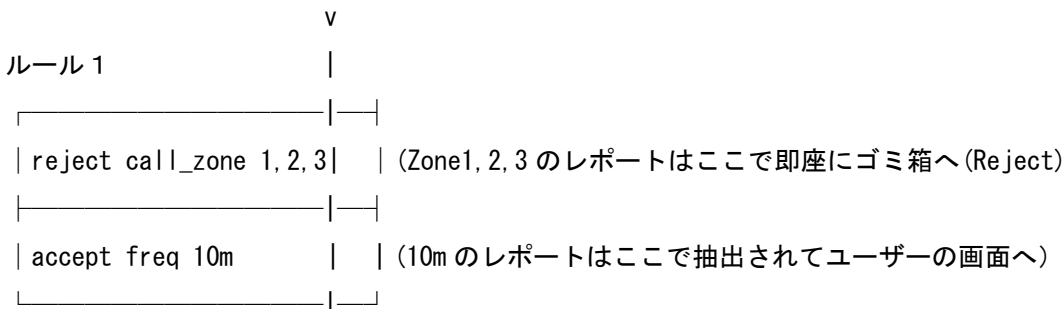
```
JN3AOU de JN3AOU-9 11-Nov-2002 1100Z >
```

Reject が優先の為、自動的に先に来ています。

まず、全てのレポートは一つ目の Reject call_zone 1,2,3 にはかられます。もしここでルールにマッチした場合 (Zone1,2,3 のレポート) は Reject (破棄) されます。

ここでマッチしなかった場合 (Zone 1,2,3 以外のレポート) は次のルール accept freq 10m にはかられます。ここで 10m のレポートは抽出されます。

ここでもマッチしなかったレポートは下記のルートをたどってゴミ箱へいきます。



v (どれにもマッチせずに矢印のように素通りしてきたものは最終的にゴミ箱へ)
ゴミ箱

最後に SH/FILTER コマンドで必ず、適宜、設定状況を確認してください。

消去する場合には Clear/Spots 1 又は、Clear/Spots all というように入力します。

使用できる条件	引数として使える物	条件例	意味
freq <range>	0/30000 hf hf/cw 6m, 4m, 2m	freq 10m, 6m	<-10m と 6m のレポート。
on <range>	freq と同様。詳しくは SH/BAND	on 2m	<-2m のレポート。
call <prefixes>	G, W, UA	call G, W, UA	<-G, W, UA がプリフィックスのレポート。
info <string>	iota qsl	info qsl	<-コメントに QSL とあるレポート。
by <prefixes>	G, W, UA	by G, W, UA	<- <u>G, W, UA から始まるコールの局がアップした</u> レポート。
call_dxcc <numbers>	95 (sh/pre JA)のように調べます)	call_dxcc 95	<-DXCC(No.95)のレポート。
call_itu <numbers>	44, 45, 46	call_itu 44	<-ITU-Zone 44 のレポート。
call_zone <numbers>	25	call_zone 2, 3, 4	<-Zone2, 3, 4 のレポート。
by_dxcc <numbers>	95	by_dxcc 95	<- <u>DXCC(No. 95)の局がアップした</u> レポート。
by_itu <numbers>		call_itu 44	<- <u>ITU-Zone 44 の局がアップした</u> レポート。
by_zone <numbers>			
origin <prefixes>	J 等	origin J	<-J から始まるコールのノード局に書き込まれたレポート。

Q. アナウンスや、WWV、WCY のフィルタもかけたいのですが....

A. DX レポートと同じ要領で行えます。

Accept/Announce , Accept/WWV , Accept/WCY Clear/Announce 等、Spots の代わりに別のコマンドを使用してください。

また、下記のルールが新たに使用可能になります。(Spot で指定可能だった Freq や call_xxxx 等は当然指定できません。)

call は DX 局、by は投稿者(レポート)、origin が書き込まれたノードという定義です。ここは先程と同じですね。

origin <prefixes>
origin_dxcc <numbers>
origin_itu <numbers>
origin_zone <numbers>

説明におかしい点がございましたら、ご遠慮なく私宛に E-Mail をお寄せください。

2003 年 1 月 23 日更新

Copyright(c) 2002-2003 All Rights Reserved.

西川友博 JN3AOU